

生活科から交流活動へ

単元名「うごく うごく わたしのおもちゃ」【葉山小学校】

葉山小学校では、2年生の生活科の活動を年長児との交流活動へつなげています。何度も改良を重ねながら動くおもちゃを作る中で、「自分の作ったおもちゃを保育園児にも楽しんでもらいたい」という思いが生まれました。学級で話し合うと、子ども達の中に「1年生の秋祭りの時と同じように、保育園の子どもを招待したい」という新たな思いが生まれ、実現に向けての話し合いが始まりました。年長児に分かりやすい遊び方の説明や楽しんでもらうためのルールを考えながら、交流会の準備を行いました。



生活科と交流活動をつなげる際は、子ども達に「年長さんと一緒に楽しみたい!」といった思いや願いを持たせることが大切です。その思いや願いを実現しながら、互恵性のある交流活動へとつなげましょう。

単元名「おもちゃまつりをしよう」【大豊学園】

大豊学園では、交流活動でおもちゃまつりを開催しています。2年生が生活科で作った動くおもちゃを年長児に紹介し、一緒に遊ぶ活動です。2年生は、ルールや遊び方を工夫することでみんなが楽しく遊べることに気付いたり、成長した自分に気付いたりすることをねらいとしていました。年長児は、おもちゃまつりを楽しむことで、2年生への親しみをもち、学校生活への期待感を持つことをねらいとした交流活動でした。



互恵性のある活動となるよう、おもちゃまつりの計画には、2年生と年長児、双方のねらいが明記されています。交流会後は、ねらいに沿って活動を振り返り、成果と課題を明確にして、次年度へ引き継いでいます!



2年生が一人一台端末を使って交流の様子を記録し、次時の活動に生かしています!



保幼小連携・接続の取組 実践事例

【中部教育事務所】

合同道徳授業

教材名「かめさん ありがとう 内容項目 礼儀」【中央小学校】

中央小学校では、1年生と年長児の合同道徳授業を行っています。1年生と年長児がペアで、かめさんやたぬきさん、りすさん役になり、実際におんぶしたり、してもらったりしながら考えました。そうすることで、年長児も登場人物の気持ちを自分の言葉で表現することができました。年長児にも分かりやすい内容項目や資料を選び、ペープサートを用いて場面の理解を図る工夫も行っていました。



授業の最後には、1年担任からは年長児への価値付け、年長児担任からは1年生への価値付けがなされ、先生方が役割を分担していました。中央小学校では、年間を通して、学校と園の交流が多く設定され、職員同士もつながっていることが分かります。



合同研修会

【四万十町】

四万十町では、就学前の教育と小学校教育の円滑な接続を図り、子どもの健やかな育ちにつなげることを目的とした保幼小連携・接続研修会が毎年夏期休業中に行われています。小学校区の子供達によさや課題、課題の要因を話し合いながら、「めざす子ども像」を共有していました。参加者からは、「研修内容を学校で共有し、『連携は全員で』という意識に少しずつ向かいたいと思います。幼稚園、保育園に行って子どもの姿を見て、そこに育っている、あるいは付けている力を活用していきたいと思います。」という振り返りがありました。

すべての小学校・保育所・子ども園より1名以上が参加し、小学校区の先生方の顔が繋がる研修となっています。

